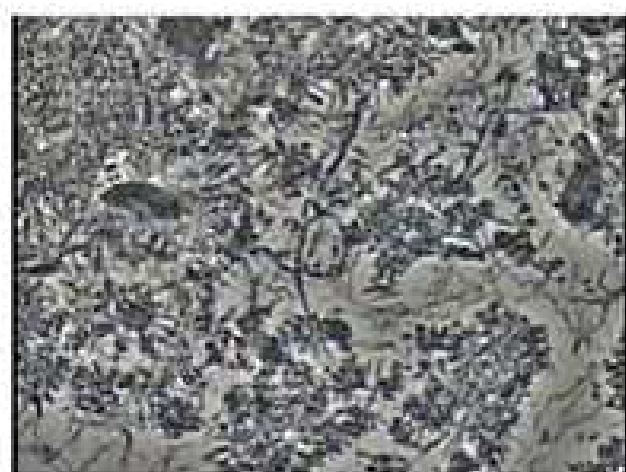


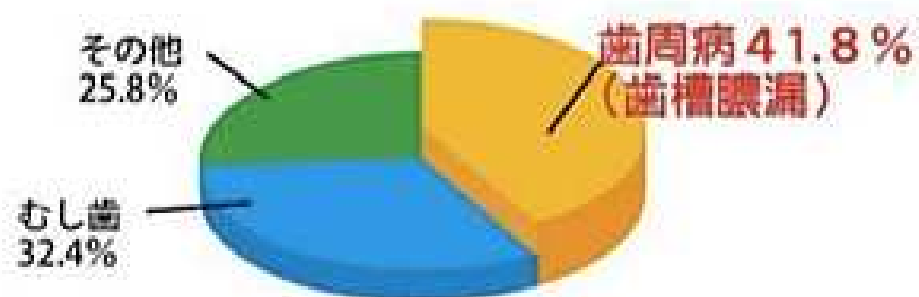
危険その① 細菌が歯を支骨を溶かします 骨が溶けて歯が抜ける!!

歯周病は「歯周病菌」と呼ばれる細菌が原因。「歯周病菌」は「歯周ポケット」を作りながら歯茎の奥へと進んでいき、やがて歯を支えている骨（歯槽骨）を溶かしはじめます。

支えを失った歯は徐々にぐらぐらになっていき、最後に歯は抜けてしまいます。



お口の中の細菌（×500倍）



歯周病は歯が抜けてしまう原因のNo.1です
成人になると歯周病の危険性がとても高まります

危険その② 気づいた時にはもう遅い! ? 自覚症状が少ない

歯周病は、初期段階では目立った自覚症状がありません。しかし、ゆっくりと確実に進行していきます。

激しい出血や痛み、歯が揺れるなど、明らかな自覚症状が出るころには、重度の歯周病になっていることも、珍しくありません。



バイオフィルムも歯磨きだけでは完全に取れません



危険その③ 歯石は「細菌」のすみかです 歯磨きでは治らない

歯周病になると、歯と歯茎の間に隙間ができます。これを「歯周ポケット」と言います。

歯周ポケットに入り込んだ細菌（プラーク）や、細菌のすみかとなっている歯石は、歯磨きだけで除去することはできません。



歯周ポケット内には、多量の細菌の塊（プラーク・バイオフィルム）が溜まっていて、毒素が出ます。

その毒素に反応して、歯茎がはれたり骨が溶けてゆきます。細菌は、血管から体内に侵入し、全身に悪影響を及ぼします。